

## ～東欧のアコーディオン芸術～

「聖歌の伴奏のためのオルガンを持ち歩けたら」という発想から欧州中に広がったアコーディオン。特に東欧、ロシアにおいては広く親しまれ、日本と違って音楽大学には「アコーディオン科」が設けられていて“クラシックの楽器”とみなされています。国際コンクールも盛んで、時々桁外れな演奏家も出現。オスタシェフスキさんは、まさにそんな類まれなアコーディオン奏者の一人。ポーランドが誇る若手ホープとして、国際的に活躍中です。

さて、この公演ではクラシックの名曲とともに、民族色溢れるアコーディオンのための作品も取り上げます。これがとにかく良い！！特にゾロタリョフのソナタ第3番は30分弱という大曲。今回は終楽章を取り上げますが、この1楽章だけでも壮絶…。グレゴリオ聖歌「怒りの日」のテーマに交錯する音の渦。アコーディオンなんてチンドン屋の…と思ったらとんでもない！心してお聴きください、ぶっ飛びますよ！！

(宗次ホール 企画担当 西野裕之)

## Tomasz Ostaszewski トマシュ・オスタシェフスキ

1989年 ポーランド東北部でリトアニアとの国境に近いアウグストフ生まれ。7歳からアコーディオンを始める。ワルシャワのショパン音楽大学でイェルジー・ユーレクとクラウディウス・バランに師事。ポーランド文化省奨学金を取得。2013年に同大学をここ数年でもっとも優れた学生に贈られるマグナ・クム・ラウデ称号を得て卒業。A.ドミトリエフ、A.セリヴァノフ、Y.シシキン、C.ジャコムッチ、T.アンゼロッチェなどの現役第一線で活躍するアコーディオン奏者たちのマスタークラスからも多くを学んだ。

これまでに10以上のアコーディオン・コンクールに出場し、5度の優勝を含む多数の入賞歴を誇る。2013年のアメリカツアーにおけるカーネギーホールでの演奏が評論家から絶賛された。同年ソシエテ・ジェネラル銀行財団からの助成を得て初のソロアルバムをリリース。



宗次ホール主催の新作コンサートチラシを毎月自宅にお届けする

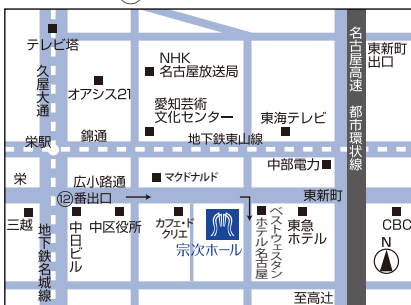
**宗次フレンズ 会員募集中!!**

宗次ホールは  
会員登録していただいた方に毎月無料で  
新作チラシをご自宅にお届けします。

**会員登録・年会費 無料**

詳しくは、宗次ホール (052-265-1715) までお問合せ下さい。

■交通アクセス  
地下鉄栄駅(12) 番出口より東へ徒歩4分



くらしの中にクラシック

  
**宗次ホール**  
Munetsugu Hall

名古屋市中区栄4-5-14 〒460-0008  
TEL:052(265)1715 FAX:052(265)1716  
E-mail info@munetsuguhall.com  
URL www.munetsuguhall.com

宗次ホールチケットセンター  
営業時間:10:00~16:00  
※13:45以降に開演の公演がある場合は18:00まで営業  
年中無休(年末年始、施設メンテナンス日を除く)